

EA913AC-0.5、-2、-3、3A 除草剤

葉から入って、根まで枯らす除草剤



●希釈率

・お使いになる噴霧器(ジョーロなど)に入れる水の量を確認して下さい。

水量 \ 倍率	本剤			散布できる広さ (散布の目安です)
	100倍	50倍	25倍	
1L	10ml	20ml	40ml	20m ² / 6坪
4L	40ml	80ml	160ml	80m ² / 24坪
5L	50ml	100ml	200ml	100m ² / 30坪
10L	100ml	200ml	400ml	200m ² / 60坪
20L	200ml	400ml	800ml	400m ² / 120坪
50L	500ml	1L	2L	1,000m ² / 300坪
100L	1L	2L	4L	2,000m ² / 600坪

※ 500mlのキャップ容量は、約8mlです。

品番	容量
EA913AC-0.5	500ml
EA913AC-2	2L
EA913AC-3	5L
EA913AC-3A	5L

廃番

●特長

- ・主成分はアミノ酸系。
土に残留しないので、ミカン等果樹の根元にも使えます。
散布後、すぐに種まきや、苗の植え付けもでき、人体にも安全です。
- ・500ml1本で10a(300坪)に使え、経済的です。

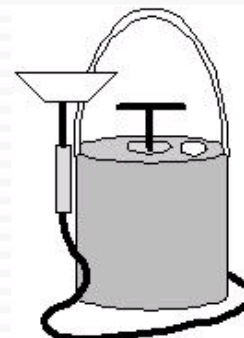
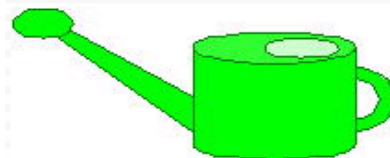
●仕様

- ・成分…グリホサートインプロピルアミン酸

ジョーロなら、
4号と表記してあれば4L、
6号なら6L、
8号なら8Lです。

肩掛け噴霧器なら、
9L、もしくは10L。

背負い噴霧器なら、
18Lや20Lなどが基本ですが、
10Lや15Lなど様々です。



●散布方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10㎡当り使用量		本剤の使用回数
				薬量 (ml)	希釈水量 (L)	
果樹類(かんきつを除く)	-	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	250~500	50~100	3回以内
かんきつ		多年生雑草		500~1000		
水田作物(水稻を除く)		一年生雑草		250~500	通常散布50~100	
		多年生雑草		500~1000	少量散布25~50	
水田作物(水稻を除く)	-	一年生雑草	耕起20~10日前まで (雑草生育期)	250~500	50~100	1回
移植水稻						
直播水稻						
水田作物(水稻畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	250~500	50~100	2回以内
		多年生雑草	500~1000			
水田作物(水田刈跡)	水田刈跡	一年生雑草	雑草生育期	250~500	50~100	1回
		多年生雑草		500~1000		
だいず	-	一年生雑草	は種10日前まで(雑草生育期)	250~500	少量散布25~50	2回以内
キャベツ・はくさい・だいこん・はつかだいこん			耕起7日まで (雑草生育期：草丈30cm以下)		100	1回
ねぎ			耕起7日前まで(雑草生育期)		少量散布25~50	3回以内
たまねぎ			耕起又は定植7日まで (雑草生育期：草丈30cm以下)			
小麦		一年生雑草	耕起7日前まで(雑草生育期)	500~750	50~100	1回
		多年生雑草				
大麦	一年生雑草	耕起7日まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	250~500			
さとうきび	圃場内の周縁部	一年生雑草	収穫30日前まで(雑草生育期)	250~500	少量散布25~50	
		多年生雑草	500~1000			
茶	-	一年生雑草	摘採7日前まで(雑草生育期)	250~500		
牧草	牧野、草地(更新・造成)	一年生雑草	更新・造成の10日以前 (雑草生育期)	250~500	50	2回以内
		多年生雑草		500~1000		
		一年生及び多年生雑草	は種10日前まで~は種当日 (耕起整地後)(雑草発生前期)	250~500		
林木	造成地(地ごしらえ)	スギ、ササ類等 多年生雑草、 落葉雑草	生育盛期以降(夏~秋期)	1000	30	1回
樹木など	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、 運動場、宅地、のり面、 鉄道など	一年生雑草	雑草生育期(草丈30cm以下)	500	100	3回以内
		多年生雑草		1000		
		スギナ	雑草生育期	2000	50~100	

●注入処理

(使い方：地際近く(50cm程度)の1～3ヶ所にナタ等でつるに傷をつけ、薬液がよく染み込むように注入処理する。)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈倍率	使用量		使用方法	本剤の使用回数	グリホサートを含む農薬の総使用回数
					つる径(cm)	(ml/株)			
林木	林地	クズ・フジ等のつる類	生育初期	原液又は2倍液	2cm以下 2.1～3.0 3.1～4.0 4.1～5.0 5.1cm以上	0.5 1.0 1.5 2.0 適宜増量	つる注入処理	1回	1回
	林地 放置竹林	竹類	夏期	原液	5～10 ml/本		竹稈注入処理		

●上手な使い方

- ・雨の降りそうにない、風のない、天気の良い日に
- ・きれいな水を使用してください。
- ・雑草の葉全体にムラなく散布(しっとり濡れるように)
- ・雑草の種類によって薬量を変えてください

●散布液の作り方

- ・先に水を入れ、後から本剤を入れてください。
(後から入れると泡だらけになることがあります)